

# みちしるべ

日本福音ルーテル教会  
九州教区女性会  
第20期 103号

発行者 平山美保  
編集者 岡田レツ  
印刷 平山印刷出版

主題聖句

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい  
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを  
真昼の光のように輝かせてくださる。 詩編37編5～6節

主題「主と共に歩む」

## 主と共に歩む



牧師 小泉 基  
(20期女性会担当牧師)

九州教区女性会は、2月に行われ  
ました総会において、今期3年  
間のテーマとして「主と共に歩む」  
という主題を掲げました。

「主と共に歩む」ということの  
意味は、当然ではありますが、「ひ  
とりで歩むのではない」というこ  
とです。

わたしたちは、実際には日々た  
くさんの仲間とともに歩んでいま  
す。しかしながら、気持ちが後ろ  
向きになっていくときに、そのと  
もに歩む仲間の姿が見えなくな  
り、なんだか自分ひとりが頑張っ  
ているつもりになってしまふ。本  
当は支えてくれる家族や仲間がい  
るにもかかわらず、その人たちの

姿が見えなくなってしまふので  
す。

神さまの愛というのは、ラジオ  
の電波に喩えることができます。  
ラジオは、スイッチが入っていない  
ければただの箱にすぎませんが、  
スイッチを入れてチューニングを  
合わせることで、美しい音  
楽や賑やかなトークを楽しむこと  
ができます。けれども、たとえス  
イッチが入っていない時でも、見  
えないラジオの電波がこの空間を  
満たしていることには変わりがな  
いのです。

神さまの存在、またその愛を、  
わたしたちが感じとろうとして  
チューニングを合わせるならば、

その時わたしたちは、無限にその  
愛を感じ、受け取ることができま  
す。わたしを助けようと、ともに  
歩んでくれる家族や仲間の存在  
を、いつもすぐその傍に見いだす  
ことができるのです。

ですから、わたしたちはひとり  
で歩むではありません。どんな  
時でも、主とともに歩んでいく。  
主が送って下さるわたしたちの助  
け手とともにあゆんでいくので  
す。

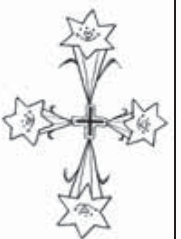
そのように、主とともに、また  
仲間とともに、神さまの愛を感じ  
取りながら、この新しい3年間を  
歩んでまいりましょう。

2月25日(土)  
 第20回総会 熊本  
 3月11日(火)  
 第1回役員会 健軍  
 3月20日～21日  
 九州教区総会 久留米  
 平山出席  
 4月  
 5月  
 6月7日(木)～8日(金)  
 第24回連盟総・大会  
 ホテルメルパルク名古屋  
 7月1日  
 みちしるべ103号発行

# 決算と予算

## 編集後記

約100字



## ご召天

鵜川 フミ姉 102歳(神水)  
 2018年1月28日

西村 温子姉 92歳 (室園)  
 2018年2月21日

永田ヨシ子姉 93歳 (神水)  
 2018年3月11日

これまでのお交わりを感謝します。  
 ご家族様の上にキリストの平安を  
 お祈りいたします。